

# 「2024年問題」への対応について

## アンケート調査の実施について

令和5年5月に2024年問題に関する実態調査として、（公社）福島県トラック協会にてアンケート調査を実施。実施結果について、主な回答は以下のとおり。

### 1. 荷主への交渉の進め方・内容

- ・労働時間の削減、ドライバーの待遇改善を図る為運賃値上げの必要性をまとめ、トラック協会のパンフレットを用い各企業と交渉。
- ・2024年問題により運行時間の制約が発生することを説明し、現状の運賃・行程では運行が継続できない旨説明。
- ・主要荷主へ「運賃改善要求申し入れ書」を提出して交渉。
- ・2022年から荷主と交渉を開始し、法改正の中身について順を追って説明。（標準的な運賃の告示制度、荷主対策の深度化、時間外労働上限規制、改善基準告示の改正、数年後のドライバー不足問題など資料を使って分かりやすく説明）
- ・値上げは荷主と協力会社各社で協議。2024年問題について荷主が各担当者、協力会社各社と現状を確認。
- ・荷待ち時間があるので、24時間受付及び賃上げを要望中だが、実現まで時間を要している。
- ・30社→直接交渉、400社→お願い文、100社→お願い文+電話

### 2. 交渉の結果

- ・20%の値上げ希望に対して3~5%の値上げ。
- ・満額回答があった額1社、半額回答が1社、一部値上げもしてもらえた。
- ・3%の運賃アップ、労働時間短縮検討、作業の割り増し運賃追加等してもらえることになった。
- ・交渉成功6割程。
- ・2023年度は現行の条件で運行するものの、2024年度からは継続協議する顧客と、2024年度は仕事を請け負わない顧客に分かれた。
- ・運賃アップや高速道路代実費負担など、概ね弊社要求に沿って解決した。
- ・弊社の経営実態を理解いただいたことや輸送品質の高さを評価していただいた。
- ・2024年問題については荷積み、待機時間短縮にむけて対策の実行段階。2次下請けからの値上げ要求は返答無し。
- ・一部値上げに留まった。
- ・理解を示すが結果は保留、結果何も変わらない。

# 「2024年問題」への対応について

## 3. 交渉がうまくいった理由

- ・交渉時細かい部分まで擦り合わせをし、金額の落としどころを探りながら交渉を重ねていたため、交渉しやすかった。
- ・受け入れてもらえなければ撤退する覚悟で交渉にのぞんだこと。
- ・トラック事業者の厳しい環境を理解して頂いた。
- ・事前に口頭で車両価格及び軽油販売価格の大幅な値上げ等の情報の通知を行い、そのあと2024年問題等についての説明をした。
- ・青果物輸送は農産物輸送の中でも特に課題が多く、荷主の危機意識が強いため、昨年12月に改善検討会を立ち上げた。検討会における協議により、現行輸送体制の維持には運賃の値上げも必要だとの認識も高まり値上げ改定に繋がったと思われる。
- ・労働環境の改善や人材確保には時間がかかり、それを実現するには原資となる運賃の値上げが必要であることを説明し、令和6年4月から値上げしていただいても間に合わないことを荷主に理解いただいた。また、荷主としても今後トラック確保が困難になることを一番懸念しており、値上げすることで従来通りのトラック台数を確保することを約束したことも運賃値上げに至った要因と思われる。
- ・荷主が危機感を持っているため。

## 4. 交渉がうまくまとまらなかった理由

- ・荷主もコロナの影響を受け、逼迫しているため。
- ・荷主には燃料は当社の利益ではない事を都度説明はしているが、以前燃料サーチャージで値上げ対応している荷主は承諾を渋られる。
- ・拘束時間の上限の短縮にひっかかる運行がそもそも少なく、直接の影響がない荷主が多くを占めているため。（物価上昇等に伴う運賃改定は成功例が多い。）
- ・2024年度問題は理解するものの、着荷主やエンドユーザーの商習慣により、発荷主側で運行形態を変えることができなかつたり、決断することができなかつたりするため。
- ・2次下請けは値上げ、労働時間短縮の要求は無視されてしまう。

## 5. 交渉を行っていない理由

- ・付き合い年数が浅い事業者は、賃上げ交渉することによって仕事がなくなる可能性があるため。
- ・荷主によっては、効率の良い配送ができ利益が確保できているため。
- ・2024年になってから値上げに対応すると言われ、値上げを拒まれている。
- ・少し待ってほしいと言われている。
- ・仕事を他の会社にとられてしまうため。

啓発活動（新聞広告掲載）について

令和5年4月9日の福島民報・福島民友に掲載

# 「物流の2024年問題」って何？

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働960時間上限規制と改正改善基準告示※1が適用され、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べない」可能性が懸念されています。

何も対策を行わなかった場合  
**2030年には営業用トラックの輸送量のうち約35%が運べなくなることも…**※2

このようなことが起きるかもしれません。

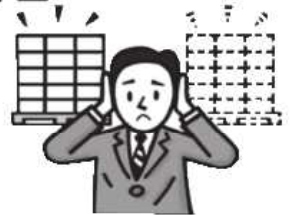
### ●トラック運送事業者

- これまでの物流を維持するためには、トラックドライバーの増員が必要だが人材が確保できない。



### ●荷主

- 荷物が指定した日時に届かないかもしれない。
- 荷物が運んでももらえなくなるかもしれない。



### ●消費者

- 当日、翌日配達の家配サービスが受けられないかもしれない。
- 水産物、青果物など新鮮なものが手に入らないかもしれない。



2024年問題を回避するためには荷主の皆様と私たちトラック運送事業者のパートナーシップの構築が必要です。

「荷待ち・待機時間の削減」「手荷役作業の削減」「リードタイムの延長」「再配達の削減」など、トラックドライバーの労働時間改善にご協力いただくとともに、ライフラインとしての物流を維持するため、「標準的な運賃」の導入や燃料コスト上昇分の価格転嫁など、適正な運賃・料金にご理解をお願いします。

※1 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）」は、トラックドライバーの拘束時間、休息期間、運転時間等の基準などについて定めています。  
 ※2 国の「持続可能な物流の実現に向けた検討会」第3回検討会資料 株式会社 NX 総合研究所の試算によれば、ドライバーの減少の影響も加味した2030年度の物流需給ギャップについて輸送能力の34.1%が不足する可能性があるとしてされています。

公益社団法人  
全日本トラック協会

公益社団法人  
福島県トラック協会

トラック輸送における取引環境・労働改善  
福島県協議会

# 「2024年問題」特設ページのご紹介

The screenshot shows the official website of the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport (MLIT) of Japan, specifically the page for the Tohoku region. The page is titled "トラックの「2024年問題」知っていますか!?" (Do you know about the '2024 Year Problem' for trucks?). It features a large green banner with a truck image and the text "トラックの「2024年問題」知っていますか!?". Below the banner, there is a detailed explanation of the problem, including the impact of the 2024 labor law changes on truck drivers' working hours. The page also includes a section for "お知らせ" (Notice) with dates for a symposium, a "物流の「2024年問題」とは" (What is the '2024 Year Problem' for logistics?) section with a cartoon character, and a "2024年問題トピックス" (2024 Year Problem Topics) section with links to related articles. A navigation menu on the left lists various transport-related topics.

東北運輸局では、「2024年問題」特設ページを公開しております

[https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/00001\\_00250.html](https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/00001_00250.html)

厚生労働省の特設サイト「はたらきかたススめ」へのリンク

- 「トラックGメン」についてのご案内
- 荷主・運送事業者向けチラシの掲載

荷主情報の投稿窓口へリンク

どなたでも参加できる「2024年問題」の関連イベントを随時更新

- 「2024年問題」とはどのようなものか
- 荷主、運送事業者、物流利用者がそれぞれの立場でできる取組をご紹介（資料の掲載、関連ページへのリンク）

ページ下部では、各県トラック協会が公開する動画もご紹介